

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4(3)学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nishimur@bunka.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
1年次に身につけた学力を基にして、さらなる読解力向上のための訓練を行なう。この授業では速読力を養成することが目的であり、内容把握に関する選択肢問題をすばやく解く練習を重ねる。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
English AとB (この単位を取得していないと履修登録ができない)

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
4学期は未定だが、次の可能性が高い。 伊藤秀一編「Effective Faster Reading」、朝日出版 あるいは、「速読とTOEICテストボキャブラリー」、成美堂

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

具体的な目的は、読解力の向上を図るために「文章構造の認識」と「文脈の理解」ができるようにすることである。授業では1年次までに習った基礎的知識をテキストの英文に応用して、段落ごとの内容をつかんでいく。テキストは21課構成で、前半は1回の授業で1課(2ページの英文)、後半では2課を扱う予定。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 評価方法

- (1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由のない欠席・遅刻は減点評価する)
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方

#### 評価基準

以下の基準に基づく。

(大学作成)

100-90点は秀、89-80点は優、79-70点は良、69-60点は可、60点未満は不可。

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として算入されるので注意すること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話やメールなどで事前に予約を取ること。

### 【学生へのメッセージ】

1. 英語に触れる時間を生活の一部に組み入れることが重要です。
2. 実用的な音声面の英語学習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧めです。

### 【その他】